

# 2018年度 本州太平洋におけるサケ回帰状況 (第1報：11月20日現在)

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
東北水産研究所 沿岸漁業資源研究センター

本州太平洋側のサケ来遊数は、11月20日までに最終的な来遊数の約半数に到達することから、第1報（中間報告）として11月20日現在の状況をお知らせします。  
なお、1月末までの最終的な来遊の状況は、第2報として2月中旬頃にお知らせする予定です。

## 1. サケ来遊概況

11月20日現在の本州太平洋側（竜飛岬から東の青森県～茨城県）におけるサケ来遊数（沿岸漁獲数と河川捕獲数の合計）の累計値は302万尾（前年同期：114%）と前年を上回っているものの、平年同期（1989～2016年の平均値、725万尾）との比較では42%という状況であり、1989年以降では4番目に少なくなっています（図1）。

河川捕獲数の累計値は42万尾（前年同期：134%）と前年を上回り、平年同期（62万尾）との比較では68%となっています。

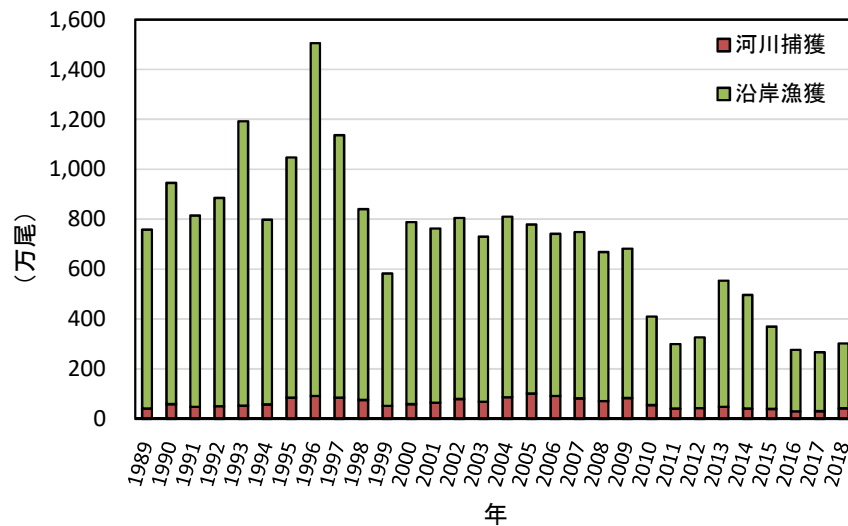


図1 11月20日時点の本州太平洋側におけるサケ来遊数（累計値）の経年変化

## 2. 年齢別河川捕獲数

本州太平洋側の主要河川のうち、年齢が判明している12河川（図2左）について、年齢割合に河川捕獲数を乗じて、過去10年間で比較しました。

## 青森県

2018年の4年魚の捕獲数は、いずれの河川においても前年を上回っており、過去10年間では奥入瀬川で2番目、川内川及び新井田川で4番目に多くなっています。一方、3年魚は川内川及び新井田川で2番目、奥入瀬川で3番目に少なくなっています。また、5年魚も川内川で最も少なく、奥入瀬川及び新井田川で2番目に少ない状況です。捕獲数全体としては、奥入瀬川では3番目に多くなっており、川内川及び新井田川ではそれぞれ5番目、4番目に少なくなっています(図2右)。

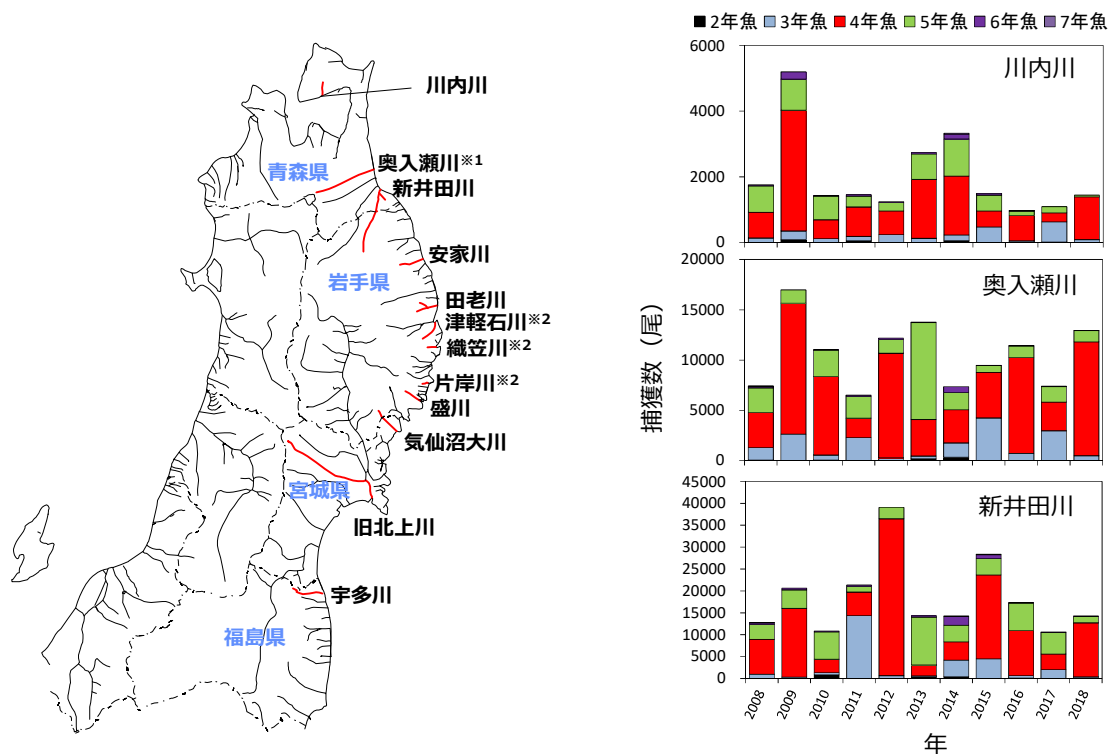


図2 調査河川(左)と青森県調査河川の年齢別河川捕獲数(右:全て11月20日現在までの累計値)

※1: 地方独立行政法人青森県産業技術センターのデータ

※2: 岩手県水産技術センターのデータ

## 岩手県

2018年の4年魚の捕獲数は、いずれの河川も前年を上回るものの、安家川では、過去10年間で最も多く、盛川及び田老川ではそれぞれ2番目、4番目に多くなっています。一方、津軽石川及び片岸川ではそれぞれ4番目、5番目に少なく、織笠川では過去10カ年の平均的な値となっており、河川により状況が異なります。3年魚は、田老川で最も少なく、津軽石川及び片岸川で3番目、安家川、織笠川で4番目に少なく、全体に少ない河川が多い傾向です。また、5年魚もいずれの河川も1~3番目に少ない状況です。捕獲数全体としては、安家川では最も多く、盛川で2番目に多くなっている一方、織笠川、津軽石川、片岸川ではそれぞれ4番目、2番目、3番目に少なくなっています(図3)。

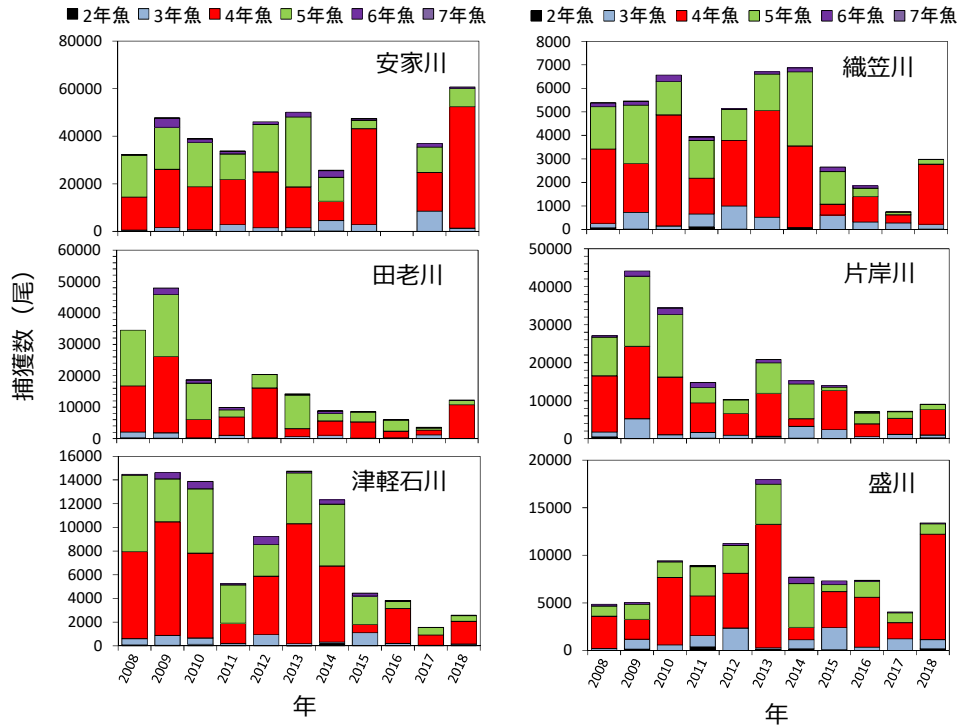


図3 岩手県調査河川の年齢別河川捕獲数 (全て11月20日現在までの累計値)

### 宮城県

2018年の4年魚の捕獲数は、気仙沼大川で前年を上回り、旧北上川では前年並みとなっており、過去10年間ではそれぞれ3番目、4番目に多くなっています。3年魚は両河川とも最も少なくなっています。また、5年魚も旧北上川で最も少なく、気仙沼大川で4番目に少なくなっています。捕獲数全体としては、気仙沼大川では4番目に多い一方、旧北上川では3番目に少なくなっています (図4)。

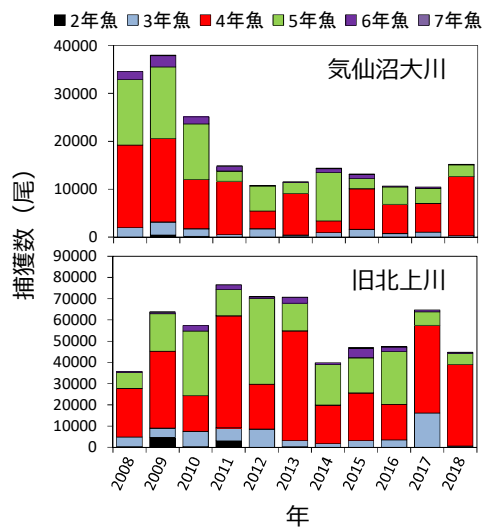


図4 宮城県調査河川の年齢別河川捕獲数 (全て11月10日現在までの累計値)

## 福島県

宇多川の2018年の4年魚の捕獲数は、前年を大きく上回り、過去10年間で3番目に多くなっています。3年魚及び5年魚はいずれも5番目に少なく、捕獲数全体は過去10年の平均的な値となっています（図5）。

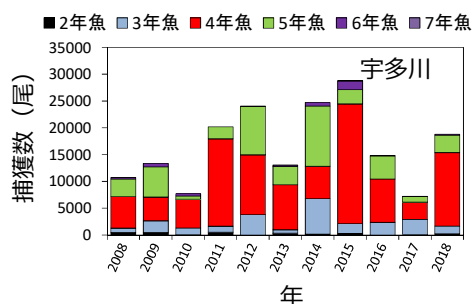


図5 福島県調査河川の年齢別河川捕獲数（11月10日現在までの累計値）

### 3. 年齢別来遊数

上記、12河川の年齢組成情報を基に本州太平洋側における年齢別の来遊数を推定し、過去10年間で比較しました。

主力となる3年魚、4年魚、5年魚はそれぞれ前年同期の15%、176%、70%となっており、4年魚で前年を大きく上回りますが、3年魚及び5年魚で前年を下回っています。4年魚は4番目に多い一方、3年魚および5年魚は最も少なくなっています（図6）。このように、2018年の4年魚の来遊数が最近年では比較的健闘している一方で、3年魚、5年魚が非常に少ないことが現時点の来遊数が伸び悩んでいる要因の一つとして挙げられます。

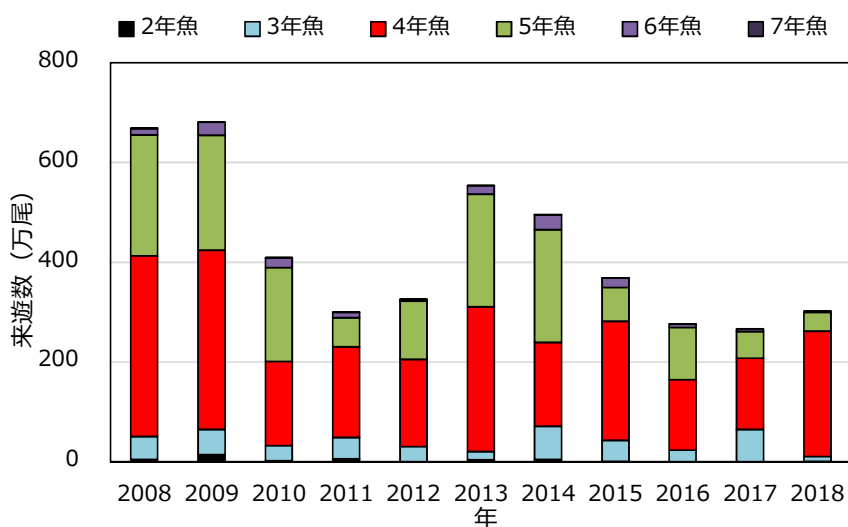


図6 11月20日時点の本州太平洋側におけるサケ年齢別来遊数（累計値）の経年変化